

議事要旨

会議名称	第7回 杉並区荻窪駅周辺総合交通戦略連絡協議会
日時	令和元年8月5日(月) 15:00~16:15
場所	杉並区役所職員会館201会議室
出席者	<p>【構成員】</p> <p>■学識経験者 大沢氏、高見澤氏、関口氏</p> <p>■交通事業者 東日本旅客鉄道株式会社、東京地下鉄株式会社、関東バス株式会社、西武バス株式会社、一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会(代理出席)、公益財団法人東京タクシーセンター、一般社団法人東京都個人タクシー協会</p> <p>■関係行政機関 警視庁交通規制課、警視庁荻窪警察署、東京都都市整備局都市基盤部交通企画課(代理出席)、東京都第三建設事務所管理課、東京都第三建設事務所補修課</p> <p>■杉並区関係各課 政策経営部企画課企画調整担当係長(代理出席)、区民生活部副参事(荻窪地域担当)、産業振興センター次長、保健福祉部管理課長、都市整備部長、まちづくり担当部長、土木担当部長、都市企画担当課長兼交通施策担当課長、市街地整備課長兼都市整備部副参事(荻窪地区まちづくり担当)、拠点整備担当課長、土木管理課占用係長(代理出席)、土木計画課長、みどり公園課みどりの計画係長(みどり施策担当課長代理出席)、杉並土木事務所長</p> <p>【事務局】 杉並区都市整備部市街地整備課荻窪まちづくり担当</p>
会議次第	<p>1. 開会</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 現時点までの取組状況について</p> <p>(2) 今後に向けた取組内容の改善・見直しについて</p> <p>(3) 情報交換・意見交換</p> <p>(4) その他</p> <p>3. 閉会</p>

<議事概要>

(1) 現時点までの取組状況について

事務局より、資料3を用いて評価指標の現状値を、資料4を用いて現時点までの取組状況を、それぞれ報告した。

(2) 今後に向けた取組内容の改善・見直しについて

議事(1)での事務局からの報告を受け、今後に向けた取組内容の改善・見直しについて、意見交換を行った。

【構成員からの意見】

■地域との関係

- ・交通戦略を策定したことを、これまでまちづくりの活動を行ってきた地元団体へ説明し、意見を聞く機会を設けたことは大事なことである。
- ・策定報告時に、地元のまちづくり協議会である荻窪まちづくり会議のニーズを把握したことは重要なことである。
- ・策定報告時の地元からの意見の中に、身近なところが一つずつ改善されると、住民は成果が出ているなど感じると思う、とあったが、その通りである。交通戦略に基づき実施したことはできるだけPRし、効果を実感してもらい、更に今後の取組につなげる、という努力をするとよい。
- ・策定報告時の地元からの意見の中に、中央線の高架化に関するものがあるが、連続立体交差化事業は、地方自治体が都市計画事業として実施するものであり、例えば中央線(三鷹～立川間)や埼京線十条駅付近は東京都の事業である。地元の方の認識に誤解があるようなので、このような意見が出た場合は区からも説明するようお願いしたい。
- ・「らくらく南北往来プログラム」「すいすい乗換えプログラム」に関する分科会は、まちの意見を効果的に収集できるよう、進め方を工夫するとよい。

■東口地下改札前通路の24時間開放化

- ・策定報告時、地元から多く意見のあった東口地下改札前通路の24時間開放化については、そうすることによってまた違った問題を生むことも考えられるが、災害対策上必要だとの意見もあるため、検討をすべきと考える。
- ・東口地下改札前通路の24時間開放化を検討する際には、どの時間帯に、どんな人が、どんな目的で通行しているのか又は滞留しているのかを観察あるいは想像したうえで、まちの回遊性向上の観点から位置付けたいくつかの施策について、利用者のニーズに合致したものとして進められているか、また、それぞれの施策が相乗効果をもたらすようなかたちで進められているかを検証し、必要に応じて再編成するような作業も、あわせて行うとよい。
- ・東口地下改札前通路の24時間開放化については、課題把握(=実現可能性の把握)のため、また、この件に関して少し踏み込んだ取組を進めるため、社会実験を行ってはどうか。
- ・東口地下改札前通路の24時間開放化を実施する際に、どのような課題が生じるのかを整理

する、という対応も考えられる。

- ・東口地下改札前通路が閉まっているのは終電から始発の間の僅かな時間だが、以前話が出た際にはその時間帯の通行者がほとんどいなかったこともあり、24時間開放化は必要ないと区が判断したと聞いている。今回、地域の意見があるということであれば、改めて協議することは可能だが、当該通路に近接して、24時間通行可能な西口連絡橋通路・荻窪地下道があることや、コストも非常にかかることから十分な必要性の検証が必要である。

■評価指標

- ・交通戦略において設定した評価指標については、今後の状況によっては増やすことも検討してはどうか。例えば、本交通戦略では、自転車利用に関するプログラムを設けているため、それに関連した指標を追加するという考え方がある。

■その他

- ・交通戦略策定後の連絡協議会は、社会状況の変化に柔軟に対応する意味からも、概ね年に1度開催して取組状況を確認し、内容の見直しにつなげていく。
- ・荻窪地下道ギャラリーの活用については、その方向性を地元商店会との意見交換等で決めていくことと思うが、現在掲示されている杉並区公式キャラクター「なみすけ」やその他アニメ関連事業の所管である産業振興センターが、掲示物に関する必要な連携・協力をしていく。
- ・荻窪地下道ギャラリーについては、安全性を確保しながら、商店会等とも連携した活用を進めるのがよい。成功事例ができれば、前述の「なみすけ」も含め様々な形での掲示が可能になり、歩行空間の環境改善にもつながる。

(5) 情報交換・意見交換

- ・丸ノ内線ダイヤ改正について、東京メトロより情報提供を行った。

(6) その他

- ・次回の第8回連絡協議会、来年度は東京2020大会の開催があるため、開催時期については事務局が構成員の意見を聞いたうえで設定する。

以上